



長万部町地域おこし協力隊通信

出前授業してきました。

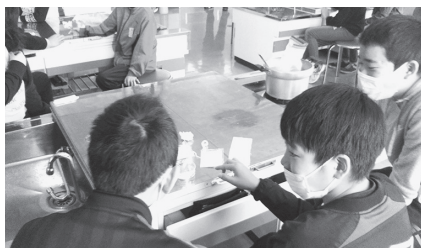


2月6日に長万部小学校6年生のところへ出前授業に行きました。防災について学んできたので、さらに深めるため何か体験できないかと担任の先生のお話から始まりました。日々の活動を知っていただいて、声をかけてくれたのがとても嬉しかったです。

最初に取り組んだのは『新聞紙スリッパ』です。避難先には必ずスリッパがあるとは限りません。「ないなら、作ろう!」ということで、新聞紙を折り紙のように折って作りました。友だちと一緒に「こうだった?」「もう一回見せて!」「小さいの作っ

てみる!」とワイワイ。ある程度できたら、やっぱりチャンバラごっこ。でも、避難所生活が続くとどうしても気持ちがふさぎ込んでしまいます。そんなとき、新聞紙があれば色々な遊びができますよね。

次は『懐中電灯ランタン』です。懐中電灯は、防災グッズに必ず入っているアイテムですが、白い袋や水を入れたペットボトルを上に乗せると、光が分散してより明るくなります。真っ暗なところで、少しでも明かりがあると気持ちが落ち着きますよね。これはみんな知ってる〜!とサクサクすすめていました。



続いて、家庭科室へと移動して『シーチキンランプ』と『ジップロックでご飯』に挑戦です。シーチキンランプは、ティッシュ(キッチンペーパーでもタコ糸でも、油を浸透させるものならなんでもOK)をこよりにして芯をつくり、シーチキンの缶を少し開けて、ティッシュを1cmくらい残して、しみこませれば準備OK。チャッカマンで火をつけてみます。「つくかな〜」「うお!ついた!おお〜」と自分たちの力でつけたランプの炎を眺めていました。それから、「火」を扱うので、燃えやすいものを近くに置かないよう注意するようにみんなで確認しました。今回



はチャッカマンを使いましたが、マッチを使ったことがない人もいるそうなので、次回はマッチを用意しようと思います。

ジップロックでご飯を炊くのは、わくわくキャンプに参加した子たちは「あれだ!」と自信满满。上手にお友達に教えていました。道具が限られた分しかなかったので、家庭科室にある色々な調理器具を駆使して、お米が入ったジップロックが鍋につかないようにしていました。

私は、災害時に「警報がなる」「救助がくる」と当たり前のよう考えるのは危険だと思っています。「完璧なシステムや支援はない」だから自分ができることをやる。『自分で何とかする力(りょく)』がこれから大切になってくるのかなと思います。自分で何とかする力は、様々な経験の積み重ねが必要だと思います。これからも、子どもたち一人ひとりの経験の積み重ねのお手伝いをしていきます。(谷本 美貴)



さて、今回で『協力隊通信』も一区切りになります。3年間は短いようで、本当にあっという間でした。人見知りで(いや、本当に(笑))ドキドキしていましたが、お話を聴いてくれて、いろんな挑戦をさせてくれて、仲間に入れてくれて、本当に感謝しています。3年間でまちおこしの第一歩ができました。長万部町でこれからもいろんな『まちおこし』をしていきます!これからもどうぞよろしくお願いします。

(有料広告)

タクシー乗務員募集!



タクシー乗務員

- ・各種保険完備
- ・二種免許養成制度あり



= 委細面談 =

(有)おしゃまんべ交通 山越郡長万部町字長万部31番地 ☎(代表) 01377-2-2226